

かくだ

Kakuda city

市議会だより

第166号

平成24年5月1日



▲角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会 行政視察のようす (平成24年2月3日「迫堂農経済センター」にて)

■ おもな内容 ■

第361回定例会

- ◇本会議の概要…………… 2～3
- ◇審議結果一覧…………… 3
- ◇予算審査特別委員会審査から…………… 4
- ◇一般質問…………… 5～8

- ◆第6回議会報告会…………… 9
- ◆平成23年度行政視察の受け入れ状況…………… 9
- ◆特別委員会の開催状況…………… 9
- ◆6月定例会日程(予定)…………… 10
- ◆議会日誌…………… 10
- ◆編集後記…………… 10

新年度予算議案など 36議案を審議しました

第361回定例会は、2月20日に招集され、市長から36件の議案が提案されました。そのうち新年度予算については、予算審査特別委員会を設置し、条例議案については、所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。上程された議案は、慎重に審議され、33日間の会期を経て3月23日に閉会しました。

本会議

◎第1日（2月20日）
会期を3月15日までの25日間と決定した後、人権擁護委員の候補者の推薦について審議し、原案のとおり同意しました。

◎第2日（2月27日）
続いて、平成23年度各種会計補正予算のほか、平成24年度角田市予算案及び施政方針に関する説明がありました。

◎第3日（3月2日）
はじめに、平成24年度角田市一般会計予算に計上していた「農作物放射性物質吸収低減対策事業」について、平成23年度事業として実施する必要があることから議案の訂正申し出がありました。

◎第4日（3月13日）
続いて、角田市震災復興基金条例の制定について、詳細説明の後、質疑を行いました。次に、初日に提案された各

議案に対し、今野林一郎議員、八島定雄議員、小湊毅議員、日下七郎議員の4名が質疑を行いました。

◎第5日（3月14日）
上程された議案のうち、角田市震災復興基金条例を除く条例議案は各常任委員会に付託し、平成24年度各種会計予算関係8議案については、「予算審査特別委員会」を設置し、付託しました。

◎第6日（3月15日）
平成23年度角田市一般会計補正予算など12議案について討論、表決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

◎第7日（3月23日）
一般質問が行われ、4名の議員が市政全般について質問を行いました。

（7～8ページ参照）

◎第8日（3月23日）
常任委員会へ付託した条例議案について、細川健也総務財政常任委員長、相澤邦戸教育厚生常任委員長及び谷津陸夫産業建設常任委員長からそれぞれ審査の経過及び結果が報告され、質疑、討論の後、表決を行い、原案のとおり可決しました。

次に予算審査特別委員会に付託された新年度予算案について審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

◎第9日（3月23日）
続いて、平成23年度角田市一般会計補正予算など3議案が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最後に本定例会の会期を議事の都合により23日まで8日間延長することを決定しました。

◎第10日（3月23日）

平成23年度角田市一般会計補正予算など2議案が追加提案され、原案のとおり可決しました。

審議された議案の審議結果は、3ページ表1のとおりです。主な内容は次のとおりです。

人事（推薦）

◎人権擁護委員の候補者の推薦について
任期満了に伴う人権擁護委員の候補者の推薦について、次の2名を推薦するものです。任期は平成24年7月1日～平成27年6月30日。

面川 百合子氏（再任）
渡邊 英敏氏（再任）

主な補正予算の概要

◎一般会計（第8号）
歳入歳出予算の総額からそれぞれ1億2,981万円を減額補正するほか、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正を行いました。

◎一般会計（第9号）
歳入の主なものは、東日本大震災復興基金交付金及び地方交付税の追加で、歳出の主なものは次のとおりです。

・大雪に伴う融雪業務委託料
・消防無線のデジタル化に伴

う仙南広域行政事務組合消費負担金

◎一般会計（第10号）
歳入歳出予算の総額からそれぞれ2億4,641万6千円を追加補正するほか、繰越明許費及び地方債の補正を行いました。

歳入の主なものは、特別交付税（震災復興特別交付税分）等の追加で、歳出の主なものは次のとおりです。

・農作物放射性物質吸収低減対策事業（塩化カリ肥料の購入・配布）
・震災等に対応するため、防災行政無線を増設し、デジタル化するもの

◎角田市震災復興基金条例
東日本大震災の被災市町村の実情に応じて県から交付される震災復興基金交付金について、角田市が行う被災者等の自立支援及び総合的な復興対策を長期安定的に実施するため定めるものです。

条例の制定

◎角田市損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例
角田市の制度融資（角田市中小企業振興資金及び角田市小企業小口資金）を受けた中小企業等が東日本大震災により被災し、融資返済の事故が発生した場合は、宮城県信用保証協会が中小企業者等に対する求償権を行使することになります。宮城県信用保証協会が回収金を取得した場合は、市との損失補償契約により市に納入すべき回収納付金が発

生しますが、市がその回収納付金を受け取る権利の全部又は一部を放棄することで、被災した中小企業等の事業の再生を支援するため定めるものです。

条例の一部改正

◎角田市市民税
《個人市民税》

○退職所得に係る個人市民税の10%の税額控除が廃止されます。（平成25年1月1日施行）

《市たばこ税》

○市たばこ税の税率が改正され、製造たばこ及び旧三級品の紙巻きたばこが引き上げとなります。（平成25年4月1日施行）

その他

◎角田市道路線の認定について
左関線について認定するものです。

表1

第361回定例会 審議結果一覧

議員数は18名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は17名。
（○…賛成、×…反対）

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブ みんしん	政友会	市民 クラブ	日本共産 党	無会派
人事案件							
諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦について	2月20日	同意	○	○	○	○	○
諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦について	2月20日	同意 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
平成23年度補正予算							
一般会計（第8号） 公共下水道事業特別会計（第6号） 水道事業会計（第4号）	3月2日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
国民健康保険事業特別会計（第3号） 後期高齢者医療特別会計（第3号） 介護保険特別会計（第4号） 農業集落排水事業特別会計（第6号）	3月2日	可決	○	○	○	○	○
一般会計（第9号） 公共下水道事業特別会計（第7号） 農業集落排水事業特別会計（第7号）	3月15日	可決	○	○	○	○	○
一般会計（第10号）	3月23日	可決	○	○	○	○	○
平成24年度予算							
一般会計 国民健康保険事業特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険特別会計 水道事業会計	3月15日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
公共下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計 東根財産区特別会計	3月15日	可決	○	○	○	○	○
条例							
角田市震災復興基金条例の制定について	3月2日	可決	○	○	○	○	○
角田市損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の制定について	3月15日	可決	○	○	○	○	○
市営住宅条例の一部改正について 角田市都市公園条例の一部改正について 角田市水防協議会条例の一部改正について 角田市市民センター条例の一部改正について 角田市図書館条例の一部改正について	3月15日	可決	○	○	○	○	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について 角田市市民税条例の一部改正について 介護保険条例の一部改正について	3月15日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
その他							
角田市道路線の認定について 宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について 宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について	3月2日	可決	○	○	○	○	○
宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について 財産の取得について（塩化カリ肥料）	3月23日	可決	○	○	○	○	○

＜各会派の構成メンバー＞
●クラブみんしん（谷津睦夫、今野林一郎、細川健也、相澤邦戸、柄目孝治）
●政友会（渡邊誠、齋藤正一郎）
●市民クラブ（本田敏昭、小島正、湯村勇）
●日本共産党角田市議団（日下七郎、八島定雄）
●無会派（会派に属さない議員）小湊毅、馬場道晴、伊藤善昭、玉手安博、佐藤正友議長、高橋力雄副議長
※3月15日の表決に参加した議員数は16名。



ロンドンパラリンピック車椅子バスケットボール男子チームの最終強化合宿の対応について

本田敏昭 議員

議員▼本年9月に開催されるロンドンパラリンピックに全日本車椅子バスケットボール男子チームの出場が決定し、日本代表及び宮城MAX（県チームの名称）のヘッドコーチ（監督）が角田市民であることから、国内最終強化合宿が、8月2日から5日にかけて、角田市総合体育館で開催されます。角田市民挙げて

東日本大震災の検証について
議員▼東日本大震災から1年になります。現在は、震災からの復旧・復興、除染対策と、まだまだ忙しい日々が続きますが、東日本大震災から1年経過した今、改めて当時の対応を検証するべきではないかと考えています。市長▼地域防災計画の見直しを行うに当たっては、各地区振興協議会の地域安全部会などの地域組織を初め、市の総合防災訓練に御協力いただいている各団体及び市内企業などから、災害への対応について広く意見を聴取し、今後は発生が懸念される大規模災害等に対応できる体制を整えたいと考えています。

消防団員の活動について
議員▼角田市消防団の団員は満56歳を定年と定めています。定年制度はそれぞれ理由もあり、一律に延長すればよいとは思いませんが、今までの経験年数などを考慮した上で、消防団OBが参加できる予備消防団員を設けてはどうか。市長▼消防団OBによる機能別消防団員、いわゆる予備消防団員の設置については効果的な方法だと思っております。班の再編成を含め消防団幹部会議で検討していただきたいと思います。

消費生活センターの設置について
議員▼消費生活センターの設置については、市民の生活に支障をきたさないよう、適切な場所を確保し、運営体制を整えたいと考えています。市長▼消費生活センターの設置については、市民の生活に支障をきたさないよう、適切な場所を確保し、運営体制を整えたいと考えています。

産業建設部長の職務について
議員▼産業建設部長の職務について、現在、土地の所有者に境界確定図に押印をいただくよう連絡をとっているところですが、なかなか応じていただけない状況です。市長▼境界確定図に押印をいただくよう連絡をとっているところですが、なかなか応じていただけない状況です。

産業建設部長の職務について
議員▼産業建設部長の職務について、現在、土地の所有者に境界確定図に押印をいただくよう連絡をとっているところですが、なかなか応じていただけない状況です。市長▼境界確定図に押印をいただくよう連絡をとっているところですが、なかなか応じていただけない状況です。

水道料金の引き下げについて
議員▼水道料金の引き下げについて、平成23・24年度の地方公営企業繰出金について、平成24年度固定資産の評価替えについて、市道（舗装）の凍上破壊の災害復旧について



第357回定例会の一般質問における旧石川重機跡地の占用許可に係る答弁後の事務執行について

日下七郎 議員

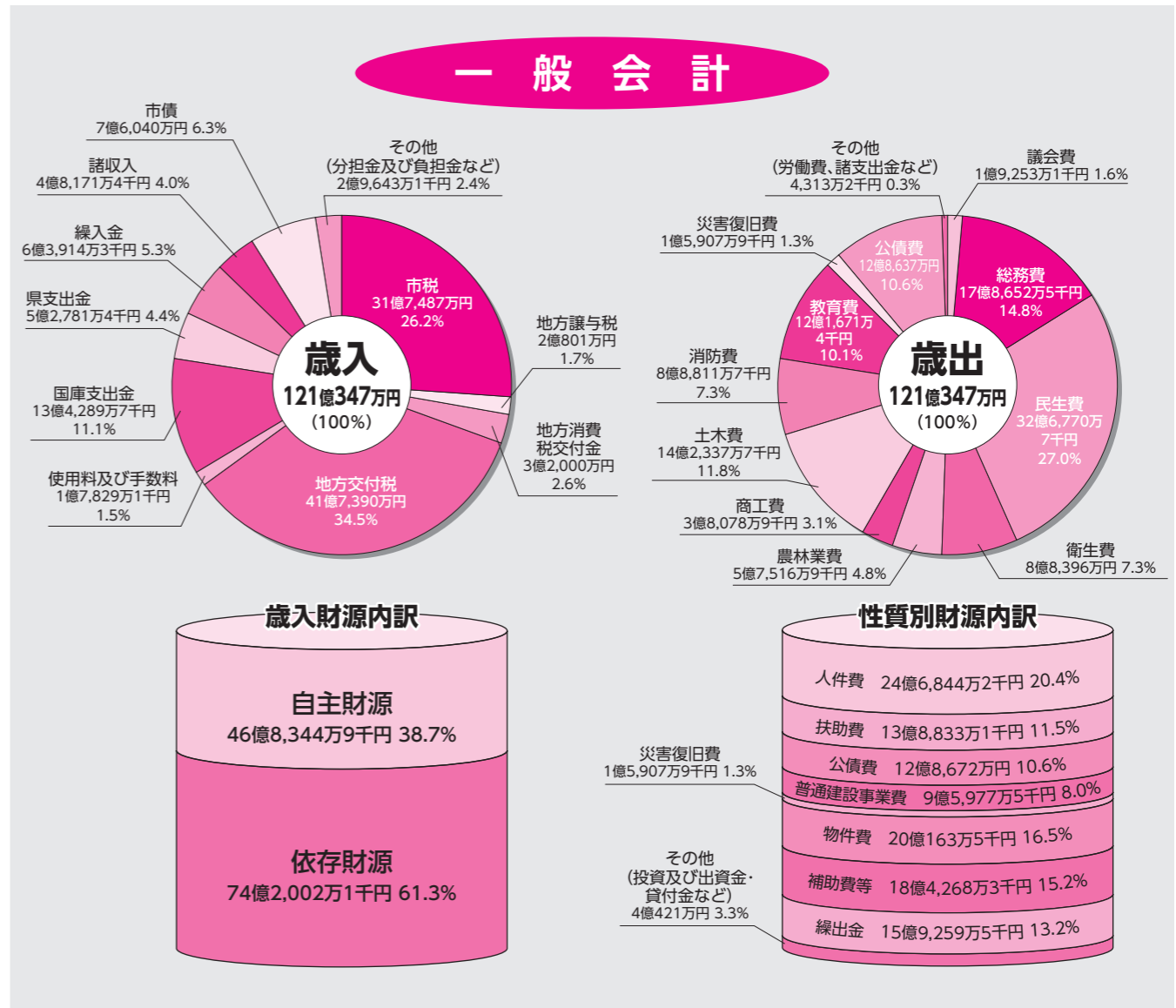
議員▼文書にて行うのが適切な事務ではないです。産業建設部長▼裁判所の競売物件として購入している経緯があり、法的な部分の問題も念頭に置きながら、早急に対応したいと思っております。議員▼公図で確認すると500番1に事務所兼住宅を昭和48年11月20日新築し、昭和49年12月30日に増築していますが、なぜ、建築許可が下りたのですか。産業建設部長▼建築許可関係については、ここで判断して答弁はできません。いずれにしても、復元した内容からすれば水路敷地に出ています。議員▼現在、同じ敷地に工場らしいものが建築されていますか。産業建設部長▼クレーンと見えますが、所有者が誰なのかまでは確認していません。議員▼市長は権限を持っています。市長▼市長は権限を持っています。

表2 平成24年度 各種会計予算総括表 (単位：千円、%)

会計区分	平成24年度		平成23年度		比較		
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	
一般会計	12,103,470	7.8	11,230,000		873,470		
特別会計	国民健康保険事業	2.3	3,505,270	3,425,244	80,026		
	後期高齢者医療	7.4	316,544	294,759	21,785		
	介護保険	3.5	2,609,358	2,521,772	87,586		
	公共下水道事業	110.7	2,866,373	1,360,214	1,506,159		
	農業集落排水事業	▲4.9	94,929	99,792	▲4,863		
	東根財産区	▲87.3	2,103	16,550	▲14,447		
	計	21.7	9,394,577	7,718,331	1,676,246		
	企業会計	水道事業	0.1	976,137	974,825	1,312	
		収益的支出	▲6.3	439,166	468,942	▲29,776	
		資本的支出	▲2.0	1,415,303	1,443,767	▲28,464	
合計	12.4	22,913,350	20,392,098	2,521,252			

予算審査特別委員会審査から

2月27日に設置された予算審査特別委員会（湯村勇委員長、齋藤正一郎副委員長）は、3月12日までの15日間にわたり平成24年度角田市一般会計、各種特別会計及び水道事業会計予算の審査を行いました。特別委員会初日は、正副委員長の互選を行いました。3月2日は一般会計の趣旨説明と質疑が行われ、5日には特別会計及び水道事業会計の趣旨説明、質疑を行った後、委員会に総務財政分科会、教育厚生分科会及び産業建設分科会を設置し、各分科会において6日と7日に審査を行いました。12日に、各分科会会長から審査結果の報告があり、表決の結果賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。各種会計歳入歳出予算は、表2のとおりです。





角田市の自殺予防対策について

八島定雄 議員

議員▼今後3年間で特に重点を置いてやることはどんなことが伺えます。
市長▼自殺を考える人は何らかのサインを出しています。そのサインを上手に受け取ることが予防対策のかなめです。このことを踏まえ、一つはサロンの開設し、閉じこもりや悩み、苦しみを抱えた方が語り合いながら、共に思いを分かち合い、支え合えるような居場所づくりを考えています。働き盛りの方、高齢者の方、自死遺族の方等年齢や立場を考慮したサロンについて、精神科医師や心理士、自死遺族の会等の専門的な見地からの指導・助言を仰ぎ、関係機関と連携しながら開設に向けて取り組んでまいります。

聞き、適切な相談機関につなぐ「命の門番」としてのゲートキーパーの技術を習得する講座です。心に悩みを持つ方は、だれかに話を聞いてもらうだけで楽になり、一人では気づかなかつたことに気づくこともあります。市内事業所の管理者や民生委員、児童委員、ケアマネジャー等、相談窓口的な立場にある方だけでなく、多くの皆様に受講していただき、大切な命を自殺から守る役割を担っていただければと考えています。

議員▼防犯灯をすべてLED化していく考えがあるのか。実施するとすれば、どれくらいの期間でやるのか伺います。
市長▼角田市では、いち早く平成20年度から防犯灯のLED化を進めてきました。この4年間で防犯灯の44・7%に当たる590基のLED化を達成。今後も環境にやさしい防犯灯のLED化を進めます。平成25年度まで残りの水銀灯150基をすべてLED化する予定で、タウンペト型の防犯灯も、平成25年度から27年度にかけて125基のLED化を進めます。これにより、平成27年度末には防犯灯の7割近くがLEDとなり、その後も順次防犯灯のLED化を進めていく予定です。

議員▼放置されている杉・松等の針葉樹の人工林が多く見られるが、落葉広葉樹の雑木林に戻す事業を考えてみてはいかがでしょうか。
市長▼地球温暖化防止対策や森林保全の観点から今後進むべき1つの方向であるとは思いますが、実行するのは困難です。

議員▼平成18年から行われている「農地・水」が今年度で第1期を終了し、現在、第2期目の募集を行っている。市としても積極的に推し進めていくべきものではないか。
市長▼農地周りの維持と地域の農村環境の改善、地域コミュニティの改善などを地域が主体で行うことを目的とした事業であり、市としても事業実施が可能な地域については、積極的に推進することと考えています。

議員▼9地区が継続し、8地区が参加の方向で検討している。新規参加を呼びかけている来年度の予算は、これまでの予算の倍額にすべきではないか。
市長▼県より2期事業の方針を示されたのが12月2日で、事業の詳細は不明でした。新規の取り組み組織、継続を要望する組織の把握が十分にできませんでした。少ない情報の中で1期事業の規模は確保できるだろうと判断し、前年度と同額の予算にしました。



山林との望ましい付き合い方について

小湊毅 議員

議員▼農地・水保全管理支払交付金に関する取り組みについて

市長▼低炭素型社会に対応するため幾つかの施策を取り上げていますが、排出権の取引までは踏み込んでいません。今後の課題としながら何ができるか可能性を探ります。

議員▼東日本大震災という未曾有の大災害について、そこから何を学び、何を残すかということを経験した者の責務ではないかと考えています。そのためには、広範な検証作業を行う必要があると考えており、この点に關し市長は現在、どのような構想をお持ちなのか伺います。

市長▼今回の大震災では被災状況の確認、応急復旧、避難所の開設、被災者への食料配給など刻々と変わる状況への対応や連携不足、市民への情報提供不足や遅延が見られ、大規模災害に対する防災体制は決して十分ではなかった面が浮かび上がりました。

議員▼このことから、災害対策本部の業務分掌を見直すとともに、地区振興協議会や行政区長会などの各種団体の方々から避難所や給水所、被災現場などにおける災害対応に関する課題や反省点など広く意見を求めて検証し、「角田市地域防災計画の見直し」に反映させ、今後発生することが懸念される大規模災害に対応できる体制を整えてまいりたいと考えております。

議員▼農林水産省では、平成24年度から、持続可能な強い農業実現のため必要な毎年2万人の青年新規就農者の定着を目指し、新規就農総合支援事業を開始します。青年就農給付金は、①準備型、②道府県が認める農業大・中学校、先進農家・先進農業法人等で研修を受ける就農者に最長2年間、年間150万円を給付する。③経営開始型、45歳未満の独立自営就農者に対して、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間150万円を支給する。従来の支援策が無利子融資や農機具購入の補助に限られていたのに対し、今回は農業収入に対する直接の給付です。この事業を本市も取り組むべきです。

議員▼近年、わが国では自転車利用者が急増し自転車事故での死傷者も後を絶ちません。本市が取り組めるものとして、一つ目「交差点の改善」、二つ目「子供たちや子育て中の母親、高齢者にも地域での交通安全教育の徹底」です。市ができることは市で取り組んでいくべきです。

議員▼平成18年から行われている「農地・水」が今年度で第1期を終了し、現在、第2期目の募集を行っている。市としても積極的に推し進めていくべきものではないか。
市長▼農地周りの維持と地域の農村環境の改善、地域コミュニティの改善などを地域が主体で行うことを目的とした事業であり、市としても事業実施が可能な地域については、積極的に推進することと考えています。

東日本大震災の教訓をどう生かすのか

細川健也 議員



議員▼放射光というのは真空中の巨大なドーナツの中で荷電粒子を、光速の8〜9割程度の速度に加速して、そこから出てくる電磁波を利用しているような分野で利用するといふような、簡単に言えばそういう施設です。材料

議員▼放射光というのは真空中の巨大なドーナツの中で荷電粒子を、光速の8〜9割程度の速度に加速して、そこから出てくる電磁波を利用しているような分野で利用するといふような、簡単に言えばそういう施設です。材料

議員▼農林水産省では、平成24年度から、持続可能な強い農業実現のため必要な毎年2万人の青年新規就農者の定着を目指し、新規就農総合支援事業を開始します。青年就農給付金は、①準備型、②道府県が認める農業大・中学校、先進農家・先進農業法人等で研修を受ける就農者に最長2年間、年間150万円を給付する。③経営開始型、45歳未満の独立自営就農者に対して、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間150万円を支給する。従来の支援策が無利子融資や農機具購入の補助に限られていたのに対し、今回は農業収入に対する直接の給付です。この事業を本市も取り組むべきです。

議員▼近年、わが国では自転車利用者が急増し自転車事故での死傷者も後を絶ちません。本市が取り組めるものとして、一つ目「交差点の改善」、二つ目「子供たちや子育て中の母親、高齢者にも地域での交通安全教育の徹底」です。市ができることは市で取り組んでいくべきです。

議員▼平成18年から行われている「農地・水」が今年度で第1期を終了し、現在、第2期目の募集を行っている。市としても積極的に推し進めていくべきものではないか。
市長▼農地周りの維持と地域の農村環境の改善、地域コミュニティの改善などを地域が主体で行うことを目的とした事業であり、市としても事業実施が可能な地域については、積極的に推進することと考えています。

新規就農総合支援事業「青年就農給付金」について

馬場道晴 議員

議員▼農林水産省では、平成24年度から、持続可能な強い農業実現のため必要な毎年2万人の青年新規就農者の定着を目指し、新規就農総合支援事業を開始します。青年就農給付金は、①準備型、②道府県が認める農業大・中学校、先進農家・先進農業法人等で研修を受ける就農者に最長2年間、年間150万円を給付する。③経営開始型、45歳未満の独立自営就農者に対して、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間150万円を支給する。従来の支援策が無利子融資や農機具購入の補助に限られていたのに対し、今回は農業収入に対する直接の給付です。この事業を本市も取り組むべきです。

「人・農地プラン」に関する程度、計画の内容も説明が不十分で市の方針も決定できない状況から、当初予算に計上できませんでした。農業人材確保の観点からこの制度の活用について今後、検討を進めたいと考えています。

線の設置は、車両の道路通行を制限するので、宮城県公安委員会の許可等が必要で、交差点へ自転車レーンの設置は、交差点に続く道路へも設置が必要で道路幅員等構造等に影響しますので、全国的な対応が求められます。今後、国・県の動向に注意していきます。「交通安全教室の徹底」について、保育所、幼稚園、小・中学校、各地区の団体及び高齢者を対象に交通安全教室を実施しています。今後、交通安全指導員による街頭での自転車運転マナーの指導の強化や交通安全教室において「自転車は車両である」ことを再認識していただくとともに、歩道における歩行者優先義務の遵守、酒酔い、信号無視、一時停止、無灯火等の違反防止と自転車事故の防止に向けた指導を徹底したいと考えています。

市議会6月定例会

日程(予定)のお知らせ

5月28日(月)	招集告示、会派代表者会議
5月31日(木)	議員協議会、議会運営委員会
6月4日(月)	本会議(提案理由の説明) 会派代表者会議
5日(火)	議会運営委員会
8日(金)	常任委員会(請願審査)
11日(月)	本会議(質疑・自由討議) 会派代表者会議
13日(水)	常任委員会(議案審査)
14日(木)	常任委員会(議案審査)
15日(金)	議会運営委員会
18日(月)	本会議(討論・表決・一般質問)
19日(火)	本会議(一般質問)
20日(水)	議会運営委員会
21日(木)	本会議

※請願及び陳情等の提出期限は、5月28日(月)までとなります。
※本会議の開会時刻は、午前10時です。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのか知ることができます。

また、市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでも議会中継をご覧になれます
お気軽に足を運んでみませんか。

※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

傍聴者数 第361回(平成24年2月)定例会 **17名**

議 会 日 誌

1月

18日	議員協議会 農業の館の管理運営に関する調査特別委員会
23日	議会報告会(藤尾自治センター)
24日	議会報告会(小田自治センター) 議会報告会(横田町公民館)
25日	議会報告会(角田自治センター)
26日	第59回全国市議会事務局職員研修会(27日・東京都)
27日	議会報告会(北郷自治センター) 議会報告会(東根自治センター)
28日	議会報告会(桜島自治センター) 議会報告会(野田生活センター)
29日	議会報告会(市民センター)
30日	大河原町外1市2町保

2月

1日	かくだ市議会だより165号発行
2日	全国市議会議長会基地協議会第75回総会 議会報告会(新中島北公民館)
3日	宮城県市議会議長会春季定期総会 農業の館の管理運営に関する調査特別委員会行政視察(登米市追分センター)
6日	会派代表者会議
7日	議会報告会(西根自治センター)
8日	議会報告会(枝野自治センター) 全員協議会 議会報告会(横倉自治センター)
9日	宮城県後期高齢者医療広域連合議会定例会 議会報告会(新上区民会館)
13日	議会報告会(農村婦人の家) 第361回定例会招集告示
17日	会派代表者会議 議員協議会
20日	農業の館の管理運営に関する調査特別委員会 議会運営委員会 第361回定例会本会議(第1日)
21日	議会運営委員会
27日	議会運営委員会 定例会本会議(第2日) 予算審査特別委員会(第1日)
28日	会派代表者会議 平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策調査

3月

1日	議会運営委員会
2日	定例会本会議(第3日) 予算審査特別委員会(第2日)
5日	予算審査特別委員会(第3日)
6日	予算審査特別委員会総務財政分科会・産業建設分科会
7日	予算審査特別委員会教育厚生分科会
8日	総務財政常任委員会(議案審査)、産業建設常任委員会(議案審査)教育厚生常任委員会(議案審査)
9日	会派代表者会議 予算審査特別委員会(第4日)
12日	議員協議会
13日	定例会本会議(第4日)
14日	定例会本会議(第5日)
15日	農業の館の管理運営に関する調査特別委員会 議会運営委員会 定例会本会議(第6日)
19日	議会運営委員会 議会だより編集会議 会派代表者会議 議員協議会
29日	特別委員会 大河原町外1市2町保 健康医療組合議会定例会 仙南地域広域行政事務組合議会定例会

4月

23日	議会運営委員会 定例会本会議(第7日)
27日	大河原町外1市2町保 健康医療組合議会臨時議会
29日	仙南地域広域行政事務組合議会臨時議会
13日	議会だより編集会議
19日	東北市議会議長会定例会総会

編集後記



今年、「除染元年」の年であり、今年度中に「角田市放射性物質除染実施計画」が策定され、本格的な除染が実施されようとしています。特に、子どもへの影響が心配されることから、優先的に保育所、幼稚園、学校等から除染作業が行われます。市民の皆様が安心して暮らせるよう、議会としても、しっかりととした計画で、除染作業が的確に進むように監視を強めてまいります。

また、「角田市議会基本条例」が制定され、一年を経過しました。その目的条項に「議会の果たすべき役割を明確にすることにより、市民の負託に的確に応え、市民生活の向上及び市勢の発展に寄与する」とあります。議員一同、さらなる努力が求められることを肝に銘じ、頑張る決意であります。

議会だより編集会議